

喜志西小だより

平成28年度 第8号
平成28年10月28日
富田林市立喜志西小学校

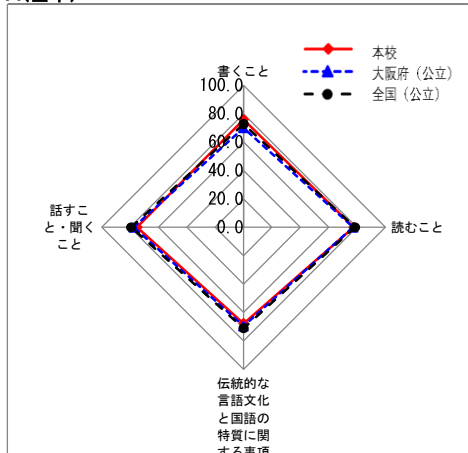
平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果について

調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいりますので、保護者のみなさまのご理解・ご協力を頂きますよう、よろしくお願いいたします。

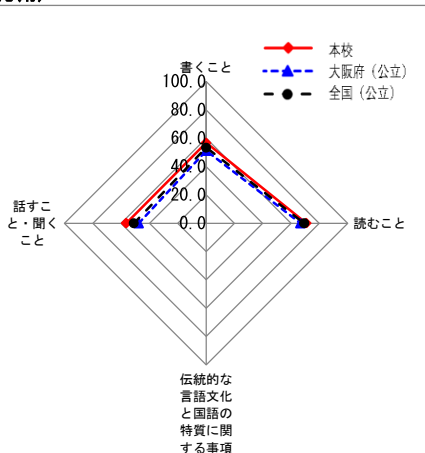
【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

【国語】

A(基本)



B(応用)



全体的な状況

Aの正答率は、わずかに全国平均を下回りましたが、Bは、全国平均を上回っています。基礎基本の定着とその応用活用について、概ね良好な傾向を示していますが、学力の二極化の傾向がみられます。

成果

「めあて」から「まとめ」までの経過をどの教科もはっきりとさせる授業づくりと、授業規律の確立が結果に結びついていると考えられます。今後も落ち着いた学習環境を保っていきます。

課題

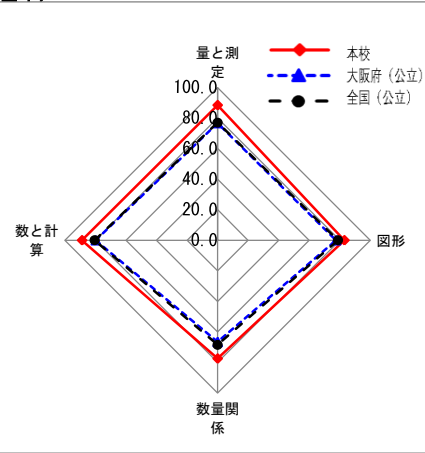
漢字の読み書きでは、全国平均を下回るものもありました。特に、ローマ字の読み書きでは全国平均を大きく下回り、無回答率も高く、A全体の平均を引き下げる大きな要因となりました。

課題解決に向けた取組み

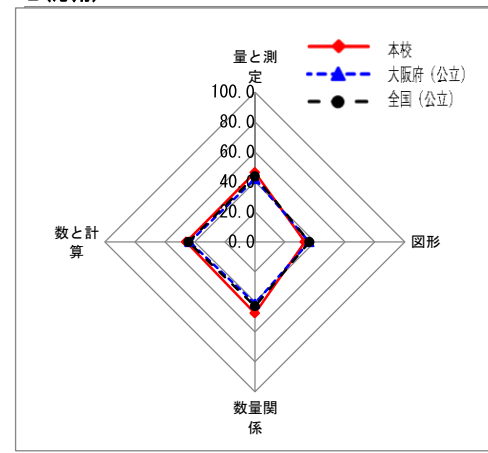
漢字とローマ字の読み書きを定着させるため、小テストでの確認やパソコン学習で書く練習をしていきます。また、文章を正確に読み取る力をつけるために、読書活動を通して語彙を増やし、文章を要約する学習を取り入れていきます。

【算数】

A(基本)



B(応用)



全体的な状況

ABともに正答率は、全国平均を上回っています。基礎基本の定着とその応用活用について、概ね良好な傾向を示しています。

成果

4年生から算数では、習熟度別少人数授業を継続して実施しており、理解度に応じた授業づくりと反復練習により基礎基本の内容が子どもたちの力として定着し、良好な結果につながっていると思われます。

課題

正答率の高さに比べ、無回答率が高いことなど、すべての領域において基礎・基本はできていますが、分野別および個々に理解度の差があり、思考力を問う応用的な問題に依然と課題があります。

課題解決に向けた取組み

授業のなかで、自分の考えを書く場面を積極的に取り入れ、問題を解くための流れや過程を大切に授業を展開し、最後までやりきるといった経験値を増やし自信を持たせる指導を継続していきます。

【学習状況調査】

状況が良好な主な項目

	本校	府	全国
学校で友だちに会うのは楽しいですか。	100	96	96
学校へ行くのは楽しいと思いますか。	91	85	86
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	70	53	62

全体的な状況

ほとんどの児童が学校へ行くのが楽しいと感じており、理由の一番が友だちとの関係性と言えます。家庭学習も、予習・復習も含め、塾での課題学習など自分で計画を立てて勉強する傾向が定着し始め、学習に対する意欲が感じられます。友だちとの人間関係が規範意識よりも、学校生活を左右するという一面が伺えます。

成果

普段の学校生活において、全教員が授業づくりや集団づくりに取り組み、毎月実施している「ここから」のアンケートによるカウンセリング週間や「喜志西タイム」による縦割りの集団遊びを週1回継続していることや、算数の習熟度別少人数授業の取組み等が子どもたちの学校生活の安定に繋がっていると考えます。

課題を残した主な項目

	本校	府	全国
朝食を毎日食べていますか。	89	95	96
地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。	46	54	61
学校のきまりを守っていますか。	75	87	92

課題

普段の学校生活は安定した状態ですが、一方では、朝食の摂取率はあまり高いとはいえません。学校生活を心も体も元気に過ごすためにも基本的な生活習慣の確立が大切と考えます。また、学習面以外の規範意識や社会性をどのように身につけていくかが、地域・家庭・学校の課題であると言えます。

課題解決に向けた取組み

学校生活において、普段の教科の学習に加え、道徳および総合学習における体験の時間を活用し、規範意識の定着、社会性の態度の育成にむけて、子どもの発達段階に応じて、全校的に取組みをすすめていきたいと考えます。

○保護者のみなさんへ(全体を通じて)

- ・学習面については、子どもが興味を持って学習に取り組める教材や指導の工夫を継続することにより、基礎・基本の定着と応用力の伸長をめざします。また、自分の意見・考えを安心して発表したり、よりよい解決法を考えることができるクラスづくりを取り組めます。
- ・生活面では、学校生活の基本は友人関係であり、その関係性が学校の楽しさに繋がっていると考えています。家庭学習の習慣や基本的な生活習慣の確立には、ご家庭との連携が不可欠と考えます。今後ともご理解とご協力をお願いします。
- ・スマートフォンの普及により、日常生活のツールとしての比重が高くなっています。情報リテラシーの観点からもその使い方についての学習をすすめていきます。家庭での使用に関するルールづくりをお願いします。
- ・「いじめ」について、みんながどんな理由があろうとも絶対にいけないことと捉えることができるように、教科の授業や道徳、総合学習の時間を活用し、発達段階に応じた「自尊心を高める」「人間関係づくり」等の心の教育にも力を入れていきます。ご家庭におきましても、「いじめ」について共に考える機会を持っていたいただければと思います。